

「協和小学校の中俣（下）川踊り伝承活動の取組」

1 学校名

垂水市立協和小学校

2 学年・人数

3年生6人 4年生6人 5年生7人 6年生8人（計27人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年7月～9月 総合的な学習の時間（本校体育館）

令和3年9月22日（水）運動会発表リハーサル（本校校庭）

令和3年10月～11月 総合的な学習の時間（本校体育館）

令和3年11月11日（木）学習発表会リハーサル（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和3年9月26日（日）秋季大運動会

令和3年11月13日（土）学習発表会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について

(1) 名称

中俣（下）川踊り（なかまたしもかわおどり）

(2) 由来

川踊りは，川内おどり，水神おどりともいわれ，水神を祭り，雨乞い豊作を祈って奉納されてきた踊りです。川踊り保存会の記録によると，上川踊りは今から百五・六十年前に坪内作馬という人が，下川踊りは四百年位前に中俣の殿様が，それぞれ共に伊集院から伝えてきて踊るようになったとされています。川踊りは戦後途絶えていましたが，昭和45年に保存会がつくられ復活しました。踊り手不足などで途中途絶えることもありましたが，今宮神社の六月灯や校区の敬老会など，いろいろなイベントに出演して，踊りを披露しています。（鹿児島県ホームページより抜粋）

(3) 構成等

「中俣川踊り」には中俣上川踊り，中俣下川踊りの2つがあり，演自やテンポが異なります。踊りは「鐘」「太鼓」「鼓」「三味線」といった楽器により演じられます。（鹿児島県ホームページより抜粋）

5 保存会や地域との連携の具体

中俣（下）川踊り保存会で計画されている毎月の定例会（練習会第1土曜日）に，校長や教頭（保存会へ加入），職員が参加し，川踊りの練習をしたり，学校での練習計画の打合せをしたりして，連携を取ってきました。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎月の定例会での情報交換や若宮神社での行事への参加を通して、郷土芸能のよさや保存会の方々の想いを知ることができ、そのことを児童へより具体的に伝え、児童の練習やリハーサルでの打合せ等も大変細やかに実施することができました。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【学習発表会を終えて6年児童】

大きな動きを意識し、心を込めて踊ることができた。

【保存会】

大人になった時、『自分も踊れる』と思いだし、引き継いでいってもらえようらしい。

【教頭】

保存会の皆様のおかげで子供たちは、楽しく練習に取り組むことができました。コロナ感染拡大の影響で地域の方々へお見せすることができず残念でしたが、運動会や学習発表会での堂々とした子供たちの発表に保護者の方々も大きな拍手を送り、大変喜んでおられました。

【校長】

川踊りを通して、児童と保存会の方々の心温まる交流ができたことがとてもうれしかったです。今後も伝統継承活動に力を入れて、地域と共に発展する学校でありたいです。